

# 2026 年度 札幌学院大学大学院臨床心理学研究科 一期入学試験

## 専門科目

### 問題 1

問 1 以下の①～⑫にあてはまる適切な語句を記入しなさい。

- ・1930年に Tendler、1950年に Rotter&Rafferty、1976年に佐野・榎田等、国内外で多くの版が公刊されている、単語や未完成の短文を刺激として与え、連想される内容をそのまま続けて記入する投映法は（ ① ）である。
- ・（ ② ）知能検査は、日本で 2024 年に発売された第 6 版から、精神年齢は従来通り使用するが、知能指数（IQ）については全年齢において（ ③ ）を主要な指標に変更している。
- ・下記は、1974年に Kertesz、1986年に杉下他による日本語版が公刊された（ ④ ）失語症検査の結果の例である。

各下位検査 10 点満点

失語症のタイプ	流暢性	話し言葉の理解	復唱	呼称
（ ⑤ ）失語	8	3	6	4
（ ⑥ ）失語	2	8	4	4

- ・行動観察を用いた心理的アセスメントの留意点として、観察する行動が（ ⑦ ）等の妥当性、観察者間の（ ⑧ ）等の信頼性の確保が挙げられる。
- ・（ ⑨ ）法は、「障害者の職業生活において自立することを促進するための措置を総合的に講じ、もって障害者の職業の安定を図ること」を目的として 1960 年に施行され、民間企業では事業主に対し現在障害者雇用率（ ⑩ ）%が義務づけられている。
- ・2015年に公表され、2017年に改訂された、「認知症の人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域のよい環境で自分らしく暮らし続けることができる社会の実現」を目指した日本の国家戦略は（ ⑪ ）である。
- ・日本では 2009 年以降貧困率を公表しているが、その貧困率とは、所属する社会の他者と比較して貧困層に属する人々の割合を示す（ ⑫ ）率を使用している。

問 2 以下の 1～3 の問いに答えなさい。

1. 心理的アセスメント結果のフィードバック面接を行う際の留意点を 3 点挙げなさい。
2. 2007 年に策定された自殺総合対策大綱において日本で最初に養成が掲げられた、ゲートキーパーの主な役割を 3 点挙げなさい。
3. 2022 年に施行された改正少年法では、成人年齢が 18 歳に引き下げられることに伴い、18 歳、19 歳の者が罪を犯した場合には「特定少年」とし、取り扱うこととなった。「特定少年」の 17 歳以下の少年と異なる取り扱いについて、3 点挙げなさい。

問 3 以下の 1～3 について、100～150 字以内で説明しなさい。

1. 心理教育
2. 人格の個人差における遺伝と環境の影響
3. 社会的認知と社会的行動

## 問題 2

次の文章に関して、正しい場合は○、間違っている場合は×を「正誤」の欄に書きなさい。また、×を選択した場合は、「修正」欄に間違っている箇所を正しく修正しなさい。

回答例

例題 1 札幌学院大学の略式名称は SGU である。

例題 2 本研究科の授業は通常江別キャンパスで行われる。

番号	正誤	修正	番号	正誤	修正
1	○		2	×	江別キャンパス →新札幌キャンパス

問 1 人間の主体性や自由意思を重視し、この人間らしさが実現されない環境において症状や不適応が生じてくるという立場を人間科学的心理学という。

問 2 Frankl, V. E. は人生の意味や価値の喪失が神経症や空虚感をもたらすと考え、実在分析を提唱した。

問 3 Rogers, C. R. の基本的な考えは、人間は根本的な動機づけとして成長・適応・健康へ向かう実在傾向を持つということである。

問 4 Ivey, A. E. により考案され、多種多様な心理療法やカウンセリングの基本的面接技法を統合したモデルをマイクロカウンセリングという。

問 5 エンカウンターグループにおいて、リーダーが積極的に関与し、メンバーに指示を与えるものを構成的という。

問 6 応用行動分析において、ターゲットとなる行動の意味を理解するために行うアセスメントを構造分析という。

問 7 刺激(S)-生活体(O)-反応(R)という3つの要因や、能動的な要因を重視する立場を新行動主義という。

問 8 Ellis, A. による REBT (理感情行動療法) では、出来事 (A) に対する認知 (B) の結果として感情や行動 (C) が生じるという ABC フレームワークを提唱した。

問 9 Jung, C. G. のタイプ論では、2 つの一般的態度と 4 つの心の指向性を組み合わせて 8 つのタイプを構成する。

問 10 Sullivan, H. S. の対人関係理論には、自己態勢、選択的非注意、関与しながらの観察などが含まれている。

問 11 Bandura, A. による社会的学習理論には自己肯定感やモデリングを下位理論として含む。

問 12 認知行動療法において、クライアントの考えや思い込みをセラピストとクライアントが科学者のように検証することを協同的経験主義という。

問 13 催眠暗示に対して反応する個人の能力 (暗示にかかりやすいか) を易暗示性という。

問 14 コラージュ療法において、クライアントが雑誌から自由に切り抜きを切り取り、貼り付ける方法をマガジンプクチャー・コラージュ法という。

問 15 うつ病患者の中核概念として、自己・世界・将来に対する悲観的な信念を抑うつ認知の 3 大徴候という。

問 16 Kabat-Zinn, J. が慢性疼痛の緩和のために開発した瞑想法をマインドフルネス疼痛緩和法 (MBSR) という。

問 17 Jung, C. G は「意味のある偶然の一致」という現象を共時性と名づけた。

問 18 精神的に傑出した歴史的人物の精神医学的伝記やその系統的研究を表現病理学という。

問 19 解決志向アプローチにおいて、「もし奇跡が起きて、すべての問題が解決しているとしたら・・・」と仮定する質問をミラクルクエスチョンという。

問 20 箱庭療法において、治療者と箱庭の枠により守られた箱庭は「解放され保護された空間」とよばれる。

### 問題 3

問 1 以下の問いに答えよ。

1. 信頼性とは何か、具体例を挙げながら説明せよ。
2. 信頼性の測定方法として考えられる方法を 2 つ述べよ。
3. 妥当性とは何か、具体例を挙げながら説明せよ。
4. 妥当性を検討するための視点として考えられる概念を 2 つ述べよ。

問 2 以下の文章を読んで問いに答えよ。

例えば、「あなたは大学の学生食堂のメニューをもっと増やすべきであると思うか」という質問に対して以下の 5 つの中から回答する項目があるとする。

心理学の分野では以下の項目を間隔尺度として扱うべきか順序尺度として扱うべきかの議論が長年繰り広げられてきた。間隔尺度ではなく順序尺度として扱うべきだと主張する理由について考えられることを記述せよ。

1	2	3	4	5
そう思わない	あまりそう思わない	どちらとも言えない	ややそう思う	そう思う

問 3 以下の文章を読んで問いに答えよ。

1. お店や美容院に電話で予約する際、電話をかけた後にはすぐに電話番号を忘れてしまうだろう。一方で、自分の携帯電話の番号や家の電話番号は忘れずに覚えていることが多いだろう。それらは、心理学の観点からは短期記憶と長期記憶で説明されることが多い。

長期記憶とは何か、具体例を挙げながら説明せよ。その際、以下の用語の中から 2 つ以上の用語を使用・解説しながら説明すること。

(エピソード記憶・意味記憶・手続き記憶)

2. 避難勧告が出ているにもかかわらず、なぜ避難しない人が多いのかについてはさまざまな理由が考えられるが、心理学の観点からは正常性バイアスの関与が指摘されている。

避難行動時における正常性バイアスとは何か、具体例を挙げながら説明せよ。その際、以下の用語の中から 2 つ以上の用語を使用・解説しながら説明すること。

(楽観的願望・オオカミ少年効果・同調)

3. 私たちは嬉しかったり、腹が立ったりすることがあり、これらは感情と呼ばれている。感情は、感情経験・生理的反応・表出反応といった複数の成分からなることが指摘されている。

感情経験・生理的反応・表出反応とはそれぞれ何か、具体例を挙げながら説明せよ。

## 解答・解答例・出題意図

### 問題 1

問 1 ( )内の解答も、英語正式名称も正答

- ① SCT (文章完成法)
- ② 田中ビネー
- ③ 偏差知能指数 (DIQ)
- ④ WAB
- ⑤ ウェルニッケ (感覚性)
- ⑥ ブローカ (運動性)
- ⑦ 漠然としていない／観察者によって正しく観察されている
- ⑧ (判断の) 一致率が保たれる
- ⑨ 障害者雇用促進
- ⑩ 2.5
- ⑪ 新オレンジプラン (認知症施策推進総合戦略)
- ⑫ 相対的貧困

問 2 解答例

1.
  - ① 誰にどこまで伝えるのか、事前にしっかり C1 さんと話し合うこと。
  - ② 専門用語の多用は控え、平易・簡潔な表現で本質を捉えるよう心掛ける。
  - ③ 問題点やできないこと、苦手なことの指摘のみに終始するのではなく、潜在的な可能性への言及があつてこそ、その先の意味ある心理支援へと繋がることに留意。
  - ④ 検査実施状況への言及は、協力的であるか否か、課題遂行に失敗した際の反応についての定型的な記述に留まらず、「事実をして語らしめる」という意識を持って臨む。
  - ⑤ C1 さんの理解と合致しているか確認し、具体例を求め、修正する場合はどのように修正するのか話し合いながら、協働でアセスメント結果を構築する。
  - ⑥ 改善や生きやすさのための提言はできる限り具体的で、C1 さんやその関係者が具体的に何を行ったらよいかイメージしやすいよう心掛ける。
  - ⑦ 得られた情報や判断をいち早く、正確に伝えようとする努力を日々の臨床において実践していく。

⇒①～⑦のうち、3点挙げられているか。
2.
  - ① 気づき：家族や仲間の変化に気づいて、声を掛ける。
  - ② 傾聴：本人の気持ちを尊重し、耳を傾ける。
  - ③ つなぎ：早めに専門家に相談するように促す。
  - ④ 見守り：温かく寄り添いながら、じっくりと見守る (専門家に紹介した後も)。

⇒①～④のうち、3点挙げられているか。

3. ① 原則逆送制度の拡大（特定少年において対象事件が追加）。
- ② 実名報道の解禁（特定少年が逆送されて起訴され刑事事件になった場合）。
- ③ 特定少年は、虞犯少年から除外（虞犯少年は18歳未満に）。
- ④ 特定少年の保護処分は、「少年院送致（3年以下）」「2年間の保護観察」「6ヵ月の保護観察」のいずれかを選択。
- ⑤ 特定少年が「2年間の保護観察」となり、保護観察中に遵守事項の重大な違反があり、改善及び更生を図るために少年院処遇が必要な場合、（2022年4月より新設された）第5種少年院に収容。
- ⑥ 特定少年の刑事裁判は、原則として20歳以上の者と同様に取り扱われる。
- ⇒①～⑥のうち、3点挙げられているか。

### 問3 解答例

1. ① 心理教育：問題解決に向けての準備を行うために、問題となっている事柄（疾患等）と、支援や介入の方法について、当事者（患者等）やその関係者（家族等）に情報共有すること。
- ② 例えば、統合失調症の場合、服薬の管理や外来通院の必要性、家族の高い感情表出や服薬を止めることが再発のリスクを高めること等を、心理教育という形で家族に伝えることを指す。
- ③ 実際に何らかの問題を抱えた者だけではなく、予防的な観点で、心理に関する情報提供が行われることも、心理教育に含まれる。
- ⇒①～③が挙げられているか、もしくは②のような例を含まずとも①のみ明確に説明できているか。
2. 人格の個人差における遺伝と環境の影響：  
遺伝要因と環境要因（共有・非共有環境含む）両方の影響、及び遺伝と環境の相互作用（遺伝環境相関、遺伝環境交互作用、環境による遺伝子発現の調節、分子遺伝学の進歩等）の影響が人格の個人差に生じていること、さらに具体的な内容の記載の程度によって採点。
3. 社会的認知と社会的行動：  
・社会的認知：人が人と関わる際に、その場の状況や相手の振る舞いをどう理解するかという認知過程を指す。理解する際の判断材料は、法律や慣習といった社会的規範、相手の気持ちや考えといった心理的な要因等。  
代表的な社会的認知は、道徳性、規範意識、共感性等。
- ・社会的行動：社会的認知に基づいた行動のこと。基本的には、人との関わりの中で行う行動を指す。  
代表的な社会的行動は、向社会的行動、援助行動、分配行動、教える行動、慰めたり、励ましたりする行動等。
- ⇒ 社会的認知、社会的行動それぞれに対し、上記の説明と具体的な内容の記載の程度によって採点。

## 問題 2

番号	正誤	修正	番号	正誤	修正
1	×	人間科学的心理学 →人間性心理学	11	×	自己肯定感 →自己効力感
2	×	実在分析 →実存分析	12	○	
3	×	実在傾向 →実現傾向	13	×	易暗示性 →催眠感受性
4	○		14	○	
5	○		15	○	
6	×	構造分析 →機能分析	16	×	マインドフルネス疼痛緩和法 →マインドフルネスストレス低減法
7	○		17	○	
8	○	×として「ABC→認知(B)に対する論駁(D)の結果、適切な感情や行動(E)が生じるABCDE」に修正する場合も正答	18	×	表現病理学 →病跡学
9	×	心の指向性 →心の機能	19	○	
10	○		20	×	解放され保護された空間 →自由にして保護された空間

### 問題3

#### 問1 解答例

1. 信頼性とは、想定値が偶然や測定誤差によって影響を受けない程度を示す概念であり、追試によるデータの安定性・一貫性のことである。例えば、体重計に繰り返し乗った際に毎回同じ目盛を示せば信頼性は高いと言える。

2. 再テスト法・並行テスト法・折半法・クロンバックの $\alpha$ 係数等の中から2つ。

3. 妥当性とは、測定値が測定したい心理的特性や行動をその程度的確に捉えているか、その程度を表す概念のことである。例えば、体重が60kgの人が体重計に乗った際、体重計が60kgを示していれば妥当性が高いと言える。

4. 内容的妥当性・基準関連妥当性・構成概念妥当性等の中から2つ

出題意図：データを扱うための基本的な知識について問うために出題した。

#### 問2 解答例

各項目間に等間隔性があるとは言い切れないため、項目を間隔尺度ではなく順序尺度として扱うべきだと主張するのではないかと考えられる。具体的には、1. そう思わないと2. あまりそう思わないとの間（距離）と、5. そう思うと4. ややそう思うとの間（距離）が等間隔とは言い切れないため、項目を間隔尺度ではなく順序尺度として扱うべきであると主張するのではないかと考えられる。

出題意図：質問紙調査において、尺度を安易に決定するのではなく、なぜその尺度を用いるのか、その尺度は妥当であるのかを考えた上で尺度を決定してもらいたく、上記の問題を出題した。

#### 問3 解答例

1. 長期記憶とは、膨大な容量をもつ永続的な記憶のことを指す。長期記憶はエピソード記憶・意味記憶・手続き記憶といった分類がされている。エピソード記憶とは、個人的な経験に関する情報の記憶であり、意味記憶とは、言語や概念などに関する一般的知識の記憶のことである。手続き記憶とは、身体の動きやスキルに関する記憶である。これらの記憶が複合し、長期記憶を形成している。

出題意図：知覚・認知心理学において重要な概念である「記憶」について理解できているかを問うために上記の問題を出題した。

2. 避難行動時における正常性バイアスとは、緊急事態に遭遇した際に、楽観的に捉えてしまう心理メカニズムのことである。特に、災害時における正常性バイアスの背後には、楽観的願望・オオカミ少年効果・同調といった心理的メカニズムがあるとされている。楽観的願望とは、たいしたことはないと思いたい願望のことを指し、オオカミ少年効果とは、前回の警報はたいしたことなかったのだから今回もたいしたことはないだろうと思ってしまうことを指す。そのほかにも周囲の人が避難をしていないために自分も避難をしないとといった同調も正常性バイアスの背後にある。これらの心理的メカニズムが複合することによって避難行動に遅れが生じるのである。

出題意図：知覚・認知心理学、社会心理学において重要な概念である「正常性バイアス」について理解できているかを問うために上記の問題を出題した。

3. 感情のプロセスとは、感情がどのような成分で構成されているのかを指すものである。感情は、感情経験・生理的反応・表出反応の3つからなることが示されている。感情経験は、感情に関する主観的な経験・解釈のことであり、生理反応は、感情に伴う身体内の変化のことである。表出反応は、表情や仕草などの感情の表出のことである。これら3つの成分が複合することで感情が成り立っている。

出題意図：知覚・認知心理学、感情・人格心理学において重要な概念である「感情のプロセス」について理解できているかを問うために上記の問題を出題した。

## 小論文 問題

以下の文章を読み、設問に答えなさい。

本文は、著作権の関係により掲載できません。

出典：Ruth Benedict *The Chrysanthemum and the Sword: Patterns of Japanese Culture.* Houghton Mifflin, 1946.

(長谷川松治 訳 菊と刀：日本文化の型. 株式会社講談社, 2005.)

### 問1

著者は日本文化の中に「美と礼儀」を象徴する菊と、「武士道と暴力」を象徴する刀という二面性が存在していることを指摘しています。あなたは人間の二面性についてどのように考えますか。二面性の具体例を挙げた上で、400文字以内で論じなさい。

### 問2

著者は日本社会を「恥の文化」として特徴づけ、欧米の「罪の文化」と対比しています。あなたは「恥の文化」と「罪の文化」の違いの本質についてどのように考えるか、あなたの考えを400文字以内で論じなさい。

### 評価方法：

ルーブリック評価を実施。評価の観点は、基本的な文章作成力の他、構成力、論理力、表現力、考察力等で構成。

## 英語 問題

下記の文章は、トールマン(Tolman, E. C.)のある研究業績に関する紹介である。読んだ上で、設問に解答しなさい。

本文は、著作権の関係により掲載できません。

(Stagner, R. 1988 *A history of psychological theories*. New York: MacMillan, pp. 394-395.)

### 問 1

下線部の文や節を、この文章の文脈に適するように和訳しなさい。多少、意識になっても構わない。人名は英文表記のままよい。

### 問 2

この文章において、「潜在学習」はどのように定義されているか。本文章の範囲内で解答しなさい。

### 問 3

Tolman and Honzik (1930)で行なわれた実験に関する次の(1)から(3)について、この文章に記された範囲内で説明しなさい。要点をとらえて説明すること。

(1) この実験が何を(どういう独立変数を)、どのように操作しているかがわかるように、実験の手続きがどういうものであったかを説明しなさい。

(2) 「潜在学習」の証拠となるデータが得られたことがわかるように、どういう実験結果が得られたのかを説明しなさい。

(3) Tolman and Honzik (1930)は、(2)の実験結果をどのように解釈したのかを説明しなさい。

#### 問4

文章冒頭の” performance” に相当することが表現されている部分を文章中から探し出し、この実験において” performance” とは具体的にどういうことに当たるのかを説明しなさい。

#### 出題意図：

問1 いずれも基本的な文法が理解できているかを見る問題であった。

問2 専門用語が論文内に出てきた時、論文内容からそれを大まかに、しかし適切に把握することができるかどうかを見る問題であった。

問3 いずれも、実証的手続きによって遂行された研究について書かれた論文において、研究方法、結果、考察が適切に読解できるかどうかを見る問題であった。

問4 新規な概念が論文中に登場した時、英文中からその意味を把握できる能力を見る問題であった。